

る力」を養いましょう。既出問題を解く際に、「どの知識が必要か」「何が分かれば解けるのか」を意識してください。

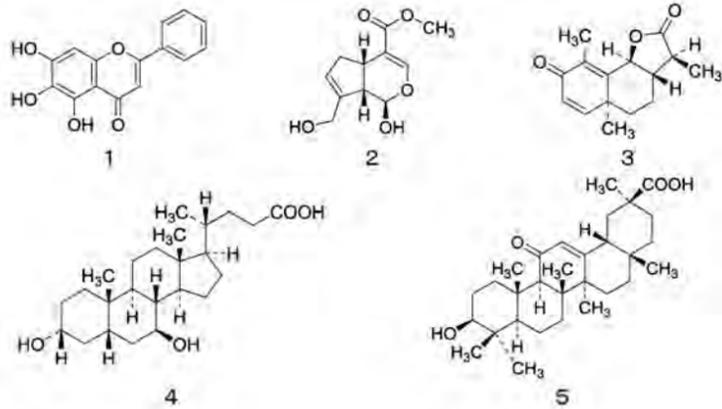
■第104回薬剤師国家試験出題例

問215 (参考正答率38% 解答5) ※連問のうち1問を抜粋

症例中の症状・検査値

両下腿浮腫、血圧160/64mmHg、血清カリウム値3.1mEq/L、代謝性アルカローシス

前問における漢方薬A(芍薬甘草湯)服用後の症状の発現の原因となる生薬成分は、腸内細菌による加水分解を受けたのちに吸収される。加水分解後の化学構造はどれか。1つ選べ。



■出題例のPOINT

本設問は、漢方薬A(芍薬甘草湯)および症状、検査値から副作用を読み取り、原因となる化合物(グリチルリチン酸)の「構造」を選ぶ問題です。化合物の分類の知識も必要とします。

■領域における学修方法のアドバイス

有機化学は「知識の積み重ね」が重要です。基本事項をしっかり理解し、化学反応や医薬品化学について、与えられた構造から判断できるようにしましょう。また、生薬は代表的な生薬について暗記しましょう。新青本では、カラーで示されているので印象づけにぜひ活用してください。

■新青本掲載：生薬

●同属植物の違い



生物

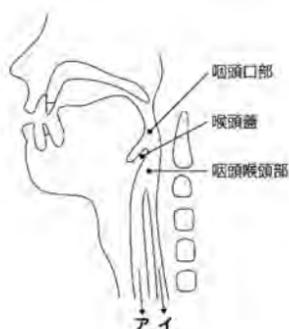
■領域における特徴、出題傾向

図表や実験操作などから情報を読み取り、判断することで答えを導き出す、「考える問題」「応用力を必要とする問題」の出題が多く見られます。

■第104回薬剤師国家試験出題例

問220 (参考正答率70% 解答5) ※連問のうち1問を抜粋

患者の娘が仕事帰りに薬局に立ち寄り、「誤嚥はどのようにして起こるのですか」と薬剤師に質問した。正常な嚥下及び誤嚥の過程について、下図を用いた薬剤師の説明として正しい組合せはどれか。1つ選べ。なお、下図は、口腔から食道・気管までの断面図である。



	正常な嚥下の過程	誤嚥の過程
1	A→B→C→D	A→C→E
2	A→B→C→E	A→B→D
3	A→C→B→D	A→B→E
4	A→C→B→D	A→C→E
5	A→C→B→E	A→B→D
6	A→C→B→E	A→C→D

■出題例のPOINT

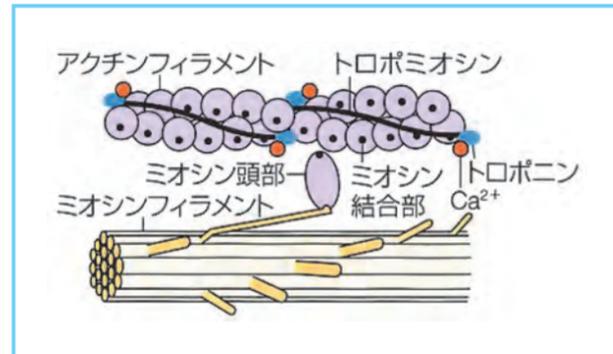
高齢者で起こりうる「嚥下能力低下」などをテーマにした問題です。正常な嚥下と誤嚥の過程の違いについて咽頭周辺の動きと共に確認しましょう。

■領域における学修方法のアドバイス

身体の各器官・組織の構造や機能、生体成分(脂質、糖質など)の構造や代謝など、他科目に関連する知識を早期に修得することが大切です。知識の土台を固めることで、加齢や疾患などによってどのような変化が起こるのかイメージできるようにしましょう。新青本でもカラーになった組織図で学修しやすくなっています。

■新青本掲載：骨格・筋肉系組織

●心筋の収縮機構



衛生

■領域における特徴、出題傾向

「法律の改正点や公衆衛生のトピックス」が出題されることが多いです。現在の日本では、乱用薬物の分野において、大麻事犯による検挙者数が急増しています。これを踏まえて104回国試では大麻の実践問題が出題されています。

■第104回薬剤師国家試験出題例

問238 (参考正答率87% 解答3) ※連問のうち1問を抜粋

大麻に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- 乾燥させた大麻の葉は、一般にマリファナと呼ばれる。
- 大麻の向精神作用の本体は、テトラヒドロカンナビノールである。
- 大麻の向精神作用の本体は代謝されにくいいため、尿中から主として未変化体が検出される。
- 大麻使用の有無を簡易検査するには、尿を検体とするキットが用いられる。
- 大麻成分の分析には、ガスクロマトグラフ法や高速液体クロマトグラフ法が用いられる。

■出題例のPOINT

本設問は、乱用薬物の分野であり、分析法を確認することが重要です。分析にあたって、特に尿中の化学型(未変化体や代謝物)や分析手法が重要です。

■領域における学修方法のアドバイス

乱用薬物の簡易検査として、トライエージDOAがあり、新青本でも分析キットをカラーの図と一緒に確認してイメージすることができます。

■新青本掲載：迅速分析キット

●トライエージDOA

